

入居者インタビュー

「今がすごく楽しい！」・・・麻木隆一様(76歳)

◆安心した気持ちを持てて、自分のやりたいことが続けられるって幸せだね◆

〈50歳代からホームへの入居は決めていた〉

僕たち夫婦には子供がなかったから、将来は絶対にホームに入居しよう、と決めていました。千葉県内のホームを10か所以上見学した結果、決めたのは佐倉〈ゆうゆうの里〉。街(城下町)の落ち着いた雰囲気が気に入ったからです。それに、住み慣れた千葉県なら、趣味も今まで同様に続けていけると思いました。

〈生涯の友、ウクレレ〉

学生時代にウクレレに魅了されて以来、弾き続けています。おかげで今では教える側にもなりました。“みんなで歌って楽しめる”っていうのが最高。ハワイアンバンドを結成して活動をしているので、施設などへの慰問活動もしています。聞いてくれる人とみんなで盛り上がって一体感を感じられるのは、幸せの極み。喜んでいる表情に、やっている僕らも嬉しく、楽しいですよ。

ウクレレとの付き合いは生涯続くかな。“生涯の友”です。

〈仲間との飲み会もサイコー！〉



佐倉〈ゆうゆうの里〉桜並木の木陰で。
一番右が麻木様。

〈ゆうゆうの里〉でも仲間が増えてきましたし、ゴルフの後、ウクレレ教室の後、演奏会の後、コーラス(船橋でやっている混声合唱団)の後等・・・楽しいことをした後に、みんなでワイワイやるのが僕は大好きだから、こうやってお酒を飲むのも大好き。体力も気力もまだまだ絶好調です。夫婦でそれぞれに好きなことを続けています。



秋の祭典で「ウクレレ演奏」を披露

〈“安心”がある中、穏やかに楽しく過ごしています〉

昨年の大地震の時は、職員がすぐ対応してくれて安心した気持ちで過ごせました。入居当初、妻が60歳代だったからちょっと早いんじゃない・・・？と言われたこともあったけれど、僕らはもっと早くても良かったと思う。元気だから、新しい環境にもすぐに慣れたし、外にもどんどん出かけています。僕は音楽が大好きだから、きっと体力の続く限り音楽活動をしていくと思います。今は職員の方々にお世話にはなっていないけど、“万が一”ということが突然に来るかもしれない。その時になって、あたふたするんじゃないくて、そんな時は“職員に頼める安心”もここにはあるんです。入居を検討している皆さんも、“まだ早い”と思っているなら、僕は早く、早く入居して穏やかに楽しく生活した方がいい、と思います。僕自身は佐倉〈ゆうゆうの里〉に入居する決断をして「大正解」と断言できます。

入居して満5年になる麻木様。元気の秘訣は「みんなと楽しむ」こと。「今の僕の生活は、安心・安全・安穩・安楽・・・です！」と満面の笑みでおっしゃっていたことがとても印象に残りました。